

I-T（情報技術）と金融を融合した「フィンテック」が企業や家計のお金の現場に浸透し始めた。ベンチャーの新サービスの存在感が高まり、金融大手も本腰を入れつた。金融庁、日銀も注視する今のフィンテックの「リアル」に迫る。

調達わずか2日

東日本大震災後の復興で脚光を浴びたクラウドファンディングを勧めたのは地元市役所だ。銀行借り入れに比べ返済負担は重いが「資金調達の選択肢を広げたかった」（加勢氏）。貸し手を仲介したミュージックセキュリティーズ（東京・千代田）によると0億円超。1年で2倍近くに増えた。中小・ベンチャーの資金調達手法と

IT（情報技術）と金融の現場に浸透し始めた。ベンチャーの新サービスの存在感が高まり、金融大手も本腰を入れつた。金融庁、日銀も注視する今のフィンテックの「リアル」に迫る。

## ネット融資・家計簿…広がる裾野

して定着しつつある。

新潟県で酪農を営む加勢健吾氏。7月にカフェの開業資金500万円をネットで募ったところ、わずか2日で集まった。

「善意が手数料に消えるのはたまらない」。仮想通貨に詳しいベンチャーネットの真骨頂だ。

一経営者で「ミスピット

（仮想通貨ビットコインで）

「お金を巡る日常も変わってきた」。

行責任者（COO）は驚

きを隠さない。

「利益を共有」

（同社は2月に「ロボア

ドバイザー」と呼ぶサ

ビスを始めた。ファン

（スマホ）で完結する。

野が広がっている。

ノロジー（技術）を組み

「イナシス（金融）とテク

ノロジー（技術）を組み

「マートフォン（スマホ）

（東京・港）のアプリ

で節約できたといっ

ト。都内の会社員、植

山周志氏は満足げだ。銀

行口座と連動してお金を

管理するマネーフォー

ード（東京・港）のアプリ

で節約できたといっ

ト。都内の会社員、植